

子どもから高齢者まで、元気な地域づくり

# 三重地区社会福祉協議会

No36

《発行日》令和6年3月1日

《連絡先》社協 地域福祉課 Tel.22-6677 fax22-3118

※戸別配布用 大事に保管して下さい。

令和5年度テーマ **支え合い みんながつながる地域づくり**

## 災害について考える

令和6年1月1日に能登半島で大規模な地震が発生しました。被害に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げます。災害というものはいつ起こるかわかりません。そのためにもまずは、自分でできる防災について考えてみませんか？

例えば、非常食や家庭用品を備蓄、避難の際に持ち出す物を用意する、家族同士の連絡方法を決めておくことなどが大切になります。また、日頃から住んでいる地域の区長や民生委員などと話し合っておくなど、できることから始めることで少しでも被害を抑えられることに繋がると思います。



地域の皆さんが話し合  
って作り上げた  
**支え合いマップ**



三重地区社会福祉協議会が主催で行っている福祉ネット会議では、過去に「**支え合いマップ**」というものを作成し、独居の方や避難時の支援が必要な方などについて情報交換を行いました。

今回能登半島で起きた地震をきっかけに、改めてこの支え合いマップの活用方法も含めて、災害に強い地域づくりについて考えていきたいと思ひます。

# 深田区福祉ネット会議

(深田区)

三重地区社協主催にて9月に開催された「新田地区福祉ネット会議」を受け、深田区でも地域を取り巻く福祉の現状や地域で出来ることを学ぶため、地区社協構成員である佐藤区長、管原福祉委員を筆頭に12月2日(土)に「福祉ネット会議」を深田区公民館にて開催しました。

会議では、区長、班長、民生委員、福祉委員、老人クラブ会長の皆さんが参加し、市社協から「人口減少とこれからの地域福祉」と題しての講話と意見交換を行いました。

講話では、「今後、国全体や豊後大野市内でも**人口減少やそれに伴う担い手不足**の影響で、福祉のサービスなどを受けたくても受けることが難しくなってくる」ことや、「**地域での支え合いの仕組みを作ることで**、公的サービスでは対応が難しいちょっとした困りごとがあっても、地域内で解決することができ、**より住みやすい地域につながる**」との話しがありました。

意見交換では、参加者から「以前、草刈りや木の剪定などの困りごとの相談があり、対応した」との声もあり、深田区でも困っている方がいることを確認できました。今後も話し合いを重ねていきたいと思えます。



## 福祉とくらしの座談会



肝煎二区では、これまで4回の座談会を通して地域に住んでいる高齢者のちょっとした困りごとを解決するための活動を行いたいという方向性が決まりました。そこで11月20日に再度、肝煎二区公民館で座談会を開催し、地域の方の困りごとの現状を把握するためのアンケート調査についての話し合いを行いました。

アンケートの実施方法や時期、質問項目などについて協議を行い活発な意見交換ができました。今後も皆さんの思いがさらに形になるよう、話し合いを重ねていきます。



豊後大野市・豊後大野市社協・三重地区社協では、自治会単位で「**福祉とくらしの座談会**」を開催してもらえるようお願いしています。地区内で声がかかりましたら是非とも参加していただければと思います。

# おたのしみ袋配付事業



菅尾小学校、新田小学校、百枝小学校、  
三重東小学校、三重第一小学校の児童の  
みなさんからのメッセージカード

嬉しいです  
ありがとうございます

三重地区社会福祉協議会では、今年も80歳以上のひとり暮らし高齢者の方を対象に「おたのしみ袋」を配付しました。  
例年のように三重町内5校の小学生が作ったメッセージカードを添えてお届けしました。  
配付については三重地区民生児童委員協議会の皆様に協力していただき、対象者の方へお届けすることができました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。

# 第34回 三重町チャリティーショー益金贈呈式

主催：三重町チャリティーショー実行委員会

令和5年12月12日（火）に令和5年11月26日（日）に開催されました第34回三重町チャリティーショーの益金贈呈式がありました。今回は4年ぶりの開催であり三重地区社会福祉協議会を含む福祉関係団体等、7団体が益金の贈呈を受けました。

三重地区社会福祉協議会では今後、三重町の福祉の充実のために益金を有効に使わせていただきます。ありがとうございました。



## 赤い羽根共同募金ご協力のお礼

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が行われました。

三重地区社会福祉協議会では、広報紙の発行事業（年3回）、ひとり暮らし高齢者おたのしみ袋配付事業（12月）に皆様から頂いた募金から助成を受けています。今年度も助成を受け、大切に使用させていただきました。

助成団体を代表して、皆さまのご協力に感謝を申し上げます。



## ～お知らせ～

今年度から広報紙で掲載を行っている、「地区社協についての特集」についてお知らせがあります。

No.34からNo.36の広報紙に3回に分けて地区社協と市社協の違いや歴史などについて掲載を行うとお知らせしていましたが、今号ではなく次号で掲載をする予定となりました。ご了承ください。



## 編集後記



日の出（佩楯山）



梅の花（宮野）

令和6年がスタートしました。元旦、新年を迎え恒例の挨拶もまだなのに、「能登半島地震」死者240名超え負傷者1190名以上家屋の被害は4万棟以上（2月8日現在）の大惨事、被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。正月2日には日本航空516便と地震の救援物資を運ぶ海上保安庁の航空機が羽田空港の滑走路で衝突炎上、海上保安庁の乗組員5名が死亡1名大けが、日本航空516便の乗客乗員379名は18分間で全員が脱出用スライドで無事避難、被害に遭われた皆様に心からお見舞い申し上げます。日頃からの訓練と冷静な対応で人命救助をされた皆様に心から感謝申し上げます。

今号は、「災害について考える」、深田区の「福祉ネット会議」、肝煎二区の「福祉と暮らしの座談会」、「お楽しみ袋配付事業」、「第34回三重町チャリティーショー益金贈呈式」、「赤い羽根共同募金御協力のお礼」の紹介記事です。令和5年度テーマは「支え合い、みんながつながる地域づくり」です。

災害時支え合いマップは必要ですね。日頃から保管場所や管理者などの確認をしておくことも必要ですね。

また、災害は忘れた頃にやってくる、忘れる間もなくやってくる。そのためにも避難訓練の実施、防災組織の見直し、備蓄品の準備、避難場所の確認、安全第一人命第一の行動、家族との連絡方法を決めておく、日頃から防災に関して話し合っておくなど、小さなことから少しずつ出来る事を始めましょう。

編集部一同、安全・安心な地域づくりに役立つ取材を今後も行います。ご協力をよろしくお願い致します。

広報部 部長：高野 幸雄、委員：管原 久徳、担当：石井 咲也、田邊 正明